

「日本語についての支援」の方法と留意点②

● 「日本語についての支援」は、日本語の語彙や文法の教授のみを意味するわけではない。

	支援の視点	支援タイプ
直接支援 (言語操作に直接関わる支援)	日本語や学習内容の理解を促す支援	【理解支援】授業中に、子どもが新しい語彙の意味がわからずにいる時に、易しい言葉に言い換えて説明するという支援
	表現内容の構成や日本語での表現を促す支援	【表現支援】子どもが適当な表現が見つけれない時に、表現をいくつか示して選択させるという支援
	語彙や表現の記憶を促す支援	【記憶支援】繰り返し聞かせて定着を促進するという支援
間接支援	自分で学習する力を高める支援	【自律支援】自分の学習を管理して学習を進める力を育むための支援
	学習への動機付けなど、情意的側面での支援	【情意支援】情意的側面に留意し、子どもが自信や意欲を持って学習を進められる環境を作ったり、自分の感情をコントロールしたりできるようにするための支援

直接支援 例)

理解支援	言い換える	子どもが知っていることばや母語などで言い換える
	視覚化する	実物、模型、絵、写真、図などを利用する。色分けして示す
	例示する	具体的な例を示す
	対比させる	対になることばや事柄を示す
	明示する	課題、手順、見通し、流れなどを明確に示す
	簡略化する	幾つかに分割したり、重要な点だけに絞ったりして簡略化して示す
	既有知識の活性化をする	先行経験、既習知識に関連付けて説明する
表現支援	選択肢を示す	語彙や表現の例を示し、選ばせる
	表現方法を示す	ことば以外の表現方法(絵、写真、図など)を示し、多様な方法での表現を促す
	モデルを示す	文や文章レベルで、発表や作文のモデルを示す
	キーワードを示す	内容に関するキーワードを示し、表現内容を構成させる
	対話で引き出す	やりとりで表現したい内容引き出し、文章化する
	内容構成のためのシートを準備する	発表/作文の構成をシートで示し、それに基づいて内容を構成させる
記憶支援	視覚化する	絵を描くなど視覚イメージに結びつけて示す
	音声化する	語彙や表現を声に出して、リズムカルに言わせる
	連想させる	関連のあることばや事柄と結びつけて示す
	グループ化する	トピックや使い方、類似の意味等でことばをグループ分けする
	反復する	繰り返し聞かせる、言わせる、描かせる、読ませる
	接触機会を増やす	多様な活動を通して新しい語彙・表現に触れる機会を確保する

<参考> 文部科学省 J S L カリキュラム

(小学校編) http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001/008.htm

(中学校編) http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001/011.htm